

三菱電機株式会社 冷熱システム製作所
低温営業課

大形冷熱機器（ブラインクーラ・低温機器）定期メンテナンス実施のお願い

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
日頃より弊社空調冷熱製品をご愛顧賜りまして、厚く御礼申し上げます。

標題の件、2018年に制定された「フロン排出抑制法」に基づき冷媒の適切な管理と定期的な点検が義務付けられております。

特に大形の冷熱機器は冷媒充填量が多く冷媒漏洩時の環境への影響やコスト増加を防止するために定期的な点検が必要です。

つきましては、下記の通りご依頼申し上げますのでよろしくお願い申し上げます。

－記－

1. 依頼内容

取扱説明書に記載された点検周期や部品交換のタイミングを守ることで、機器の性能維持と冷媒漏洩の防止に繋がります。

また、定期的な点検と適切なメンテナンスにより、長期的なコストを抑え環境保護にも寄与します。

お客様に於かれましては点検・メンテナンスの重要性についてご理解いただき、適切な管理をお願い申し上げます。

2. 添付資料

- (1) 資料①【保守・点検項目一覧表】
冷媒漏洩を防止するために必要な点検項目を記しております。

※その他ご不明な点がございましたら、ご購入された当社販売営業窓口までご連絡をお願いいたします。

【保守・点検項目一覧表】

◆冷媒漏洩を未然に防止するための保守・点検時の確認項目

- 1) 配管、バルブなどの損傷はないか。
- 2) 冷凍機油の漏れ、滲みはないか。（フランジの合わせ部）
- 3) 配管の異常な凍結、又は結露がないか。（通常と異なる現象）
- 4) 冷媒配管（特に鋼管）に錆、緑錆、腐食がないか。
- 5) サービスポートのキャップ部からの漏れがないか。
- 6) フランジ継手のガスケットに割れがないか。
- 7) フレアナット、フランジ継手の締め付けボルトは規程トルクで締結されているか。
- 8) 断熱材、防熱施工部のシール部が切れていないか。
- 9) 配管同士、又配管と他の部品が接触していないか。
- 10) 配管防熱部が劣化していないか。
- 11) 配管と支持金が擦れていないか。
- 12) 配管固定部（支持金）のボルト、ナット類が緩んでいないか。
- 13) 配管支持用の部材（固定バンド、インシュロックなど）が劣化していないか。
- 14) 機器運転中、及び停止中に冷媒の液面が低下していないか。（液面計、サイトグラスで確認）
- 15) 冷媒が泡立っていないか。（サイトグラス等で確認）
- 16) 電磁弁動作直後に液ショックによる配管振動が発生していないか。
- 17) 冷水（ブライン）、冷却水（水冷機のみ）の流量は使用範囲内であるか。
- 18) 水質基準が守られているか。（JRAGL-02：冷凍空調機用水質ガイドライン）
- 19) 冷媒回路内に空気が混入していないか。（運転圧力で確認）
- 20) 運転中に配管、圧縮機などに異常な振動がないか。

※赤字の項目は経年劣化、及び機器運転時の振動などにより冷媒漏洩が発生する可能性があり重要視する項目